



## いわての林業人32

はじめに

今月の普及班便りでは、平成23年度岩手県林業経営推奨行事で表彰された2名をご紹介します。

### 【最優秀賞】大崎善實さん(九戸村)

所有森林の資源構成を活かし、広葉樹を利用した木炭生産と、主に融資により整備した人工林を活用して林業経営を行っています。主伐は齢級構成などを考慮して計画的に行い、伐採跡地については再造林を確実に実行しています。また、広葉樹伐採地は、天然更新が適切に行われるよう伐採時期に配慮しながら、天然更新実施を行っています。



大崎善實さん

### ○計画的な間伐による優良大径材生産と広葉樹の天然更新実施の確立化

広葉樹林の資源構成を生かし木炭生産用として皆伐し、その後、天然林施業により再生し、資源の循環利用に配慮しています。人工林については、適期に間伐を実施し、優良大径材の生産を目標としています。また、作業道を積極的に開設し、低コスト化を図っています。(17・1m)

### ／鈴

人工林伐採跡地は必ず造林し、「伐つたら植える」を実践しています。木炭用の広葉樹は自ら伐採しますが、人工林の主伐、間伐及び植栽などは森林組合に委託しています。

### ○地域林業の振興に対する貢献

大崎氏は、九戸村林業実行組合長として、集約化実施の実施について地域の組合員に積極的に働きかけるなど、地域の森林整備の促進に貢献しています。また、日本一の生産量を誇る県北地域の木炭振興を図るために平成23年度に設立された「北いわて木炭産業振興協議会」の理事として、いわて木炭の新たな需要拡大や販売戦略の策定などにも尽力しています。

### 【優秀賞】有限会社「和木材代表取締役社長 小笠原清貴さん(滝沢村)

### ○立木の安定的確保と事業の多角化の推進

自己所有林190鈴のほか、近隣の164鈴の森林について森林所有者と長期施業受託契約を締結し、管理面積の拡大を図っています。また、分収造林により30鈴の国有林の管理も行っています。収穫した林産物の利用率の向上と、生産コストの縮減を目的として、造林、素材生産、製材、加工(チップ化含む)及び販売に関し、一貫した事業体制を構築して経営を行っています。

### ○高性能林業機械の導入による生産性の向上

ハーベスタを中心とした高性能林業機械を導入した作業システムによる低コスト化を進め、間伐材の搬出コスト削減を達成しています。また、採材方法を工夫して、林地残材を極力発生させない、発生したものは、木質バイオマスなどに活用する取組みも行っています。伐採跡地については、再造林を的確に実施し、森林資源の循環利用にも配慮しています。

### ○地域林業の振興に対する貢献

小笠原氏は、地域での持続的な森林経営を推進するため、他の森林所有者と共同して面的なまとまりのある

森林を確保して効率的な森林施業に取り組んでいます。また、定期的な若年層の雇用を進め、若者の地元定着にも貢献しています。なお、「高性能林業機械導入による低コスト間伐」と題した現地研修会の開催により、地域の林業振興に対する波及効果も生み出しました。

### おわりに

受賞された方々におかれましては、たいへんおめでとございます。なお、大崎善實さんについては、全国林業経営推奨行事へ推薦させていただきました。

### 林業技術センター普及班

019(698)1337



小笠原清貴さん